アクティブノイズキャンセリング
ワイヤレスステレオヘッドセット

ATH-BT04NC

取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

コントローラーについて

⚠警告

- **病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない**
  電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- **本製品を自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **本製品を充電する際に、付属の充電用 USB ケーブルおよび指定の USB 対応 AC アダプター（別売）以外は使用しない**
  事故や火災の原因になります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがありましたら、(AC アダプター使用の際はすぐにコンセントから抜き）お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。

⚠注意

- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障、不具合の原因になります。
- **火気に近付けない**
  変形、故障の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
  変形、故障の原因になります。

リチウムポリマー電池（内蔵）について

⚠危険

- **付属の充電用 USB ケーブル以外で充電しない**
  事故や火災の原因になります。
- **分解や改造、ハンダ付けはしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **火の中に投入しない**
  破損や事故の原因になります。

■リサイクルのお願い

リチウムポリマー電池のリサイクルについて

本製品に内蔵しているリチウムポリマー電池はリサイクルができます。
製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は
製品本体を下記宛先まで着払いにてお送りください。
なお、電池を取り出した後の製品は返却いたしかねますので
予めご了承ください。

送り先：
〒915-0003 福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社テクニカフクイ　サービス課　宛
TEL：0778-25-6736

ヘッドホンについて

⚠警告

- 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。
  交通事故の原因となります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所 (踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など) では使用しないでください。
- 本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながらご使用ください。
- イヤピースは幼児の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意

- 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 肌に異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。
- 分解や改造はしないでください。
- ヘッドホンを耳から外したときは、必ずイヤピースが本体に付いているかご確認ください。
  イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品を使用時に万一メモリーなどが消失しても、当社では一切の責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでヘッドホンの故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
  また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。
  必ず付属のポーチに収納してください。
- コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- コードをポータブル機器やコントローラー部などに巻き付けないでください。
  断線の原因になります。
- 航空機内で電子機器が使用禁止、または機内の音楽サービスに個人のヘッドホンを使用することが禁止されている場合は、本製品を使用しないでください。
- 付属の航空機用変換アダプターは、航空機の搭載機材により使用できない場合があります。
- 本製品はノイズキャンセリング機能が搭載されていますので、ノイズキャンセリング機能の ON と OFF で音量の差があります。
- デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器では使用できない場合があります。
- 付属の接続コードは、本製品以外には使用しないでください。
- 本製品と接続コードを接続する際、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。
  プラグの接続が不充分ままで使用すると、接触不良を起こす場合があります。

- 有線接続時にφ3.5mm ステレオジャック以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。

*Bluetooth*機器について

本製品は 2.4GHz 帯の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用する他の機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止してください。そのうえで当社相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーテーションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

- 本製品は日本国内専用です。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。
  無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
  - 分解や改造を行なう
  - 本体に貼付の技術基準適合証明ラベル（ マークを含むラベル）をはがす
- 本体の表示について
  2.4FH1　この無線機は2.4GHz帯を使用し、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以内です。
- 使用可能範囲
  本製品は送信側*Bluetooth*機器から約10mの範囲でご使用いただけますが、本製品と送信側*Bluetooth*機器の間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
- ほかの機器との影響
  電子レンジ・デジタルコードレス電話・無線LANを使用する機器・*Bluetooth*搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- *Bluetooth* 通信時に情報の漏洩が発生しても、当社では一切の責任を負いません。

*Bluetooth*対応バージョンとプロファイル

本製品は下記の*Bluetooth*バージョンとプロファイルに対応しています。

■ 通信方式：*Bluetooth*標準規格 Ver.2.1+ EDR準拠

■ 対応 *Bluetooth*プロファイル：
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) ： ステレオ音質のオーディオデータを送受信するためのプロファイル。
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) ： 再生、停止、スキップ、音量調整など AV 機器を操作するためのプロファイル。
- HSP(Headset Profile) ： 通話 / 携帯電話の発着信をするためのプロファイル。
- HFP(Hands-Free Profile) ： ハンズフリーで通話 / 携帯電話の発着信をするためのプロファイル。

アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品は、ヘッドホンに内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音 (乗り物内での騒音やエアコンの空調音など。主に 300Hz 以下の騒音) を収音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

※全ての騒音が消えるわけではありません。
※静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
※本製品のノイズキャンセリング機能は主に 300Hz 以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音 (電話の着信音、話し声など) に対してはほとんど効果がありません。
※NC スイッチをオンにすると「サー」という音がしますが、これはノイズキャンセリング機能の動作音で故障ではありません。
※ヘッドホンの装着具合によっては、ノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。
付属のイヤピースから耳に合っているものを選び、しっかりと耳に装着するようにしてください。
ヘッドホンのノイズキャンセリング用マイク内蔵部を手などで覆わないでください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社相談窓口までご連絡ください。

イヤピース (ER-CKM55)

充電用 USB ケーブル (1.0m)

接続コード (0.8m)

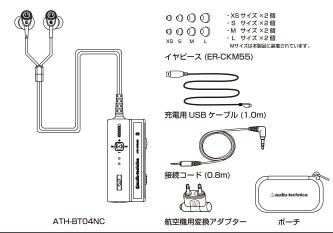
ATH-BT04NC

航空機用変換アダプター

ポーチ

各部の名称と機能

正面

ヘッドホン部

ノイズキャンセリング用マイク内蔵部

L/R 表示位置

左側には指で触って分かるように凸形状があります。

イヤピース

コードスライダー
スライダーを調整することでコードのぶらつきや絡みを軽減することができます。

通話マイク

操作ボタン

LED(赤)

LED(青)

通話ボタン

コントローラー部

側面

メインスイッチ
電源のON/OFFと3D BASS エフェクトのON/OFFを兼ねたスイッチです。下方向へ動かすとホールド機能が働き*Bluetooth* 機能のボタン操作(通話短押し以外)ができなくなります。

上

下

NC(ノイズキャンセリング)インジケーター(緑)
アクティブノイズキャンセリング機能が作動中は点灯します。

NC(ノイズキャンセリング)スイッチ
アクティブノイズキャンセリング機能をON/OFFします。

クリップ

リセットボタン

マイクロ USB ジャック

ペアリングボタン

φ2.5mm ステレオミニジャック

キャップ
ツメからキャップを外してください。
外す際は強く引っ張らないでください。

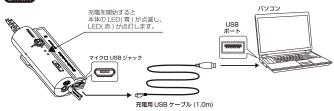
充電のしかた

初めてご使用になる場合は、充電を行なってください。
※本製品は充電して出荷しておりますが、初めてご使用になる場合は必ず充電を行なってからご使用ください。

1. 本製品のキャップを外し、マイクロUSB ジャックに付属の充電用 USB ケーブルを接続します。
2. 充電用 USB ケーブルをパソコンの USB ポートに正しく接続します。※1
3. 充電が開始されると本体の LED (青) が点滅し、その後 LED (赤) が点灯します。
充電開始から約 3 〜 4 時間で LED (赤) が消灯し充電完了となります。※2

※1 正しく接続されていない場合、本体の LED(赤) が点滅します。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。
充電中でもノイズキャンセリング機能を使用できますが、充電完了までの時間が長くなります。

＊ **USB 対応 AC アダプター (別売) でも充電することができます。**

接続図

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、約 0.5 秒後間隔で LED (赤) と LED (青) が同時に点滅します。
本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
LED の点滅が始まったら、上記の方法で充電してください。

使用可能時間※

連続通信(音楽再生時間を含む):(*Bluetooth* 機能およびノイズキャンセリング機能 ON 時)最大約 8 時間
:(*Bluetooth* 機能のみ ON 時)最大約 8.5 時間
:(ノイズキャンセリング機能のみ ON 時)最大約 60 時間

連続待ち受け:最大約 200 時間
※使用条件により異なります。

- 以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても LED (赤) が消灯することがあります。
  ・動作保証温度範囲(5℃〜 45℃)から外れる場合
  ・充電式電池に異常がある場合
  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。
- 初めて充電を行なったときや長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げの販売店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 本製品とパソコンを接続中に、パソコンが省電力モードになると正しく充電できません。接続を行なう前にパソコンの設定を確認してください。パソコンが省電力モードになっても LED (赤) は自動的に消灯します。この場合は充電をやり直してください。
- 本製品とパソコンを接続する際は、付属の USB ケーブルのみを使用し、直接接続してください。USB ハブ、USB 延長ケーブルは使用しないでください。
- USB ケーブルは USB ポートの奥までプラグを持ってまっすぐ差し込んでください。

使いかた

1. 本製品と機器を接続します。

本製品は、以下の 2 種類の接続方法があります。

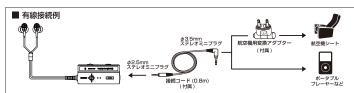
Bluetooth 接続の場合

接続機器が *Bluetooth* に対応している場合、ワイヤレスで接続できます。
「ペアリングを行なう」(→8 ページ)を参照してください。
※充電中は *Bluetooth* 機能は使用できません。
(充電中でもノイズキャンセリング機能を使用できますが、充電完了までの時間が長くなります。)

■ *Bluetooth* 接続例

有線接続の場合

付属の接続コードを使用して有線接続ができます。また、その際にノイズキャンセリング機能を使用することができます。
Bluetooth 対応機器であっても自動的に本製品の *Bluetooth* 機能が停止し、コントローラー部の操作/通話ボタン、3D BASS エフェクト機能は操作できなくなります。
※航空機内など電波機器の使用が禁止されている場所では、付属の接続コードを使用してください。
※付属の接続コードを抜いても、本製品の *Bluetooth* 機能が自動的に ON の状態にはなりません。
再び *Bluetooth* 接続する場合は、付属の接続コードを抜いてから電源を入れなおしてください。

■ 有線接続例

※接続する機器の音量を最小にしてから付属の接続コードを接続してください。

2. 右図のように R の表示がついたヘッドホンを右耳に、L の表示がついたヘッドホンを左耳に装着してください。

3. 接続機器の音量を調整します。
Bluetooth 接続した場合、本製品の操作ボタンにて音量を調整できます。
※*Bluetooth* 機能が OFF の場合は、操作ボタンで音量の調整ができません。
※接続機器によっては音量調整できない場合があります。
有線接続した場合、接続機器の音量を操作してください。

4. ノイズキャンセリング機能を使用する場合は、NC スイッチを ON にしてください。
NCスイッチがONになると、NCインジケーター(緑)が点灯します。
ノイズキャンセリング機能については、「アクティブノイズキャンセリング機能について」
(→4 ページ) を参照してください。

ペアリングを行なう

***Bluetooth* 接続する機器を予め登録(ペアリング)しておく手順です。**
***Bluetooth* 機器では、接続する機器 (本製品では携帯電話、スマートホンなど) を最初にペアリングしておく必要があります。**
ペアリングの動作をビープ音で確認したい場合は、ヘッドホンを装着してください。
※ヘッドホンの装着のしかたについては「使いかた」(→7 ページ)を参照してください。
※*Bluetooth* 接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

1. *Bluetooth* 接続する機器が、本製品の 1m 以内にあることを確認してください。
本製品の電源が切れている状態でメインスイッチを上方向へスライドさせて、3 秒以上押し続けてください。LED (青) が 3 回点滅して電源が入ります。
2. ペアリングボタンを 3 秒以上押し続け、ペアリングモードにします。
「ピーポポ」とビープ音が鳴り、ペアリングを開始します。
ペアリング中は LED が赤 / 青交互に点滅します。
※ペアリングには時間がかかる場合があります。

■ペアリング中の各部の動作

3. *Bluetooth* 接続する機器でペアリング操作を行ない、本製品を検索します。
画面に検出した機器の一覧が表示されます。
本製品は「ATH-BT04NC」と画面に表示されます。
4. *Bluetooth* 接続する機器の画面に表示されている「ATH-BT04NC」を選択します。
※*Bluetooth* 接続する機器の画面でパスコードを要求されたら、「0000」と入力します。
5. LED (青) がゆっくりした点滅に変わったらペアリング完了です。

※ 複数のプロファイルを接続する場合は、4 〜 5 のペアリング手順を複数回繰り返す必要があります。
※ 一部機器によっては、自動で *Bluetooth* 接続を行ない、対応したプロファイルを読み込む機器があります。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
※ 5 分以内にペアリング作業を完了しなかった場合、本製品のペアリングモードは解除されて、電源が切れます。この場合、もう一度最初からペアリングを行なってください。
※ リセットボタン (→13 ページ) を押してもペアリング情報は削除されません。

一度ペアリングを行なっても、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- **9台以上の *Bluetooth* 機器をペアリングしたとき**
(本製品は最大 8 台までペアリング登録できます。8 台ペアリング登録したあとに、新たな機器のペアリング登録を行なうと、8 台のペアリングされた機器のうち、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)
- **修理後などに、本製品のペアリング情報が消えてしまったとき**
- **相手側 *Bluetooth* 機器で本製品の接続履歴が削除されたとき**

Bluetooth 対応携帯電話の情報について

Bluetooth 対応の携帯電話の適合リストについては、当社ホームページでご案内しています。
【PCサイト】http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/
【携帯サイト】www.audio-technica.co.jp/i/
TOP ページ>一般製品>製品適合リスト

Bluetooth 接続で音楽を聞く

本製品は、*Bluetooth* 無線技術におけるコンテンツ保護方式の一つ、SCMS-T 方式に対応しています。SCMS-T 方式対応の携帯電話やワンセグなどの音楽（または音声）を聞くことができます。

操作を行なう前に、以下の内容をご確認ください。

●送信側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。
●本製品と送信側 *Bluetooth* 機器のペアリングが完了している。
●送信側 *Bluetooth* 機器が音楽送信機能に対応している。(プロファイル：A2DP※)
●本製品が充電中でない。
●付属の接続コードを接続していない。
※プロファイルについては「*Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル」(→4 ページ）を参照してください。

1．ヘッドホンを装着してください。
2．本製品の電源が切れている状態で メインスイッチを上方向にスライドさせて、3 秒以上押し続けてください。起動音が鳴り、LED (青) が 3 回点滅し電源が入ります。
3．送信側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご参照の上、*Bluetooth* 接続操作を行なってください。
4．送信側 *Bluetooth* 機器の再生を始めます。*Bluetooth* 接続中は、LED (青) が点滅します。

●本製品は電源を入れると前回接続した *Bluetooth* 機器に HFP または HSP で自動的に接続しようとします。

●通話をしない場合は、相手側 *Bluetooth* 機器を接続待ち状態にしないでください。また、自動的に接続してしまった場合は A2DP で接続しなおしてください。本製品の操作ボタンを短押しすると、手動で A2DP に接続することができます。

送信側 *Bluetooth* 機器を操作するには

送信側 *Bluetooth* 機器が機器操作機能 (*Bluetooth* プロファイル：AVRCP）に対応している場合は、本製品の操作ボタンで、送信側 *Bluetooth* 機器の操作ができます。
＊送信側 *Bluetooth* 機器によっては、操作に対応していない場合があります。

操作ボタンの ⏯ を短押しすると、再生 / 一時停止
操作ボタンの ⏯ を長押しすると、停止
操作ボタンの ⏭ 短押し - 曲送り / 長押し - 早送り
操作ボタンの ⏮ 短押し - 曲戻し / 長押し - 早戻し

操作ボタン
メインスイッチ
上
下

音量調整するには

操作ボタンの上下で音量を調整します。
操作ボタンを上（+）へ動かすと音量が大きくなり、下（−）へ動かすと小さくなります。
操作ボタンは長押しでも調整できます。*
＊音量が最大 / 最小になると「ピピッ」と警告音が鳴ります。それ以上は大きく / 小さくなりません。

5. 使用後、電源を切ります。
送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
使用後は本製品の メインスイッチを上方向にスライドさせて、3 秒以上押し続けてください。LED (赤) が 2 回点滅して電源が切れます。

Bluetooth 接続で通話する

Bluetooth 機能搭載の携帯電話で通話を行なうには、以下の内容をご確認ください。
●携帯電話の *Bluetooth* 機能が有効になっていること。
●本製品と *Bluetooth* 対応携帯電話のペアリングが HSP か HFP で完了していること。

1. 本製品の電源が切れている状態で メインスイッチを上方向にスライドさせて、3 秒以上押し続けてください。起動音が鳴り、LED (青) が 3 回点滅して電源が入ります。

2. *Bluetooth* 対応携帯電話の取扱説明書をご参照のうえ、*Bluetooth* 接続操作を行なってください。*Bluetooth* 対応携帯電話の画面リストの中に「ATH-BT04NC」と表示されます。

HFP と HSP の両方に対応した *Bluetooth* 対応携帯電話をご使用の場合は、HFP で接続してください。
※プロファイルについては、「*Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル」(→4 ページ）を参照してください。

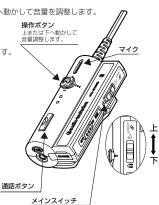
●本製品は電源を入れた後、前回接続した *Bluetooth* 機器に HFP または HSP で自動的に接続しようとします。相手側 *Bluetooth* 機器が接続待ち状態であれば、自動的に HFP または HSP に接続します。

※有線接続では通話することができません。
※受話音量を調整するには操作ボタンを上、または下へ動かして音量を調整します。

■ **電話を受ける**
着信があると、ヘッドホンから着信音が聞こえます。
通話ボタンを押して、電話を受けます。
※通話ボタンを２秒以上押し続けると着信を拒否します。

■ **電話をかける**
ご使用の携帯電話を操作して電話をかけてください。
本製品から発信音が聞こえない場合は、通話ボタンを２秒以上押し続けてください。

■ **電話をリダイヤルする**
ご使用の携帯電話の待機中に、通話ボタンを２秒以上長押しし、リダイヤルします。
最後にかけた電話番号に発信します。
※ご使用の携帯電話によって異なる場合があります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

■ **電話を切る**
本製品の通話ボタンを押して、通話を終了します。

ご使用後
送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
ご使用後は本製品の メインスイッチを上方向にスライドさせて、3 秒以上押し続けてください。
LED (赤) が 2 回点滅して、電源が切れます。
音楽を再生する *Bluetooth* 機器（ポータブルプレーヤーや携帯電話など）を操作して、A2DP で本製品と *Bluetooth* 接続します。

音楽再生中に通話する

音楽再生中に通話するには、A2DP だけではなく、HFP または HSP での *Bluetooth* 接続が必要です。

1. ご使用の携帯電話を HFP または HSP で *Bluetooth* 接続してください。
※詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。
2. 音楽を再生する *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続します。

音楽再生中に電話を受ける

着信があると音楽が一時停止し、本製品のヘッドホンから着信音が聞こえます。
1. 本製品の通話ボタンを押して、通話を開始します。
2. 通話が終了したら通話ボタンを押し、電話を切ります。
本製品が音楽再生に戻ります。

音楽再生中に電話をリダイヤルする

音楽再生中に本製品の通話ボタンを２秒以上長押しし、リダイヤルします。
音楽が一時停止し、最後にかけた電話番号に発信します。

通話ボタン
操作ボタン
上または下へ動かして音量を調整します。

着信があってもヘッドホンから着信音が聞こえないときは、以下の操作をしてください。
● 再生中の音楽を停止する。
● 着信音が鳴ったら通話ボタンを押して、通話を開始する。
● 発信中または着信中に通話ボタンを 2 秒以上長押しすると、通話機器を切り換えることができます。
※ 携帯電話の機種については、*Bluetooth* 対応携帯電話の情報について (→8 ページ) を参照してください。

3D BASS エフェクト機能 について

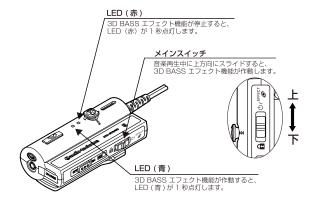
メインスイッチで 3D BASS エフェクト機能を ON/OFF できます。3D BASS エフェクト機能は、SRS Labs,Inc が開発した SRS WOW HD™を採用しています。
※出荷時は 3D BASS エフェクト機能が ON の状態にセットされています。

SRS WOW HD
この技術は、オーディオの再生音質を著しく改善し、深く豊かな低音再生、高域の音の抜けの良さと共に迫力のある立体音場を体験して頂けます。
SRS と ◎ 記号 は、SRS Labs. Inc. の商標です。
WOW HD 技術は、SRS Labs Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

3D BASS エフェクトを ON にする

音楽再生中に、メインスイッチを上方向にスライドさせると、ビープ音が「ピッ」と鳴り、LED (青) が 1 秒以上点灯して機能が作動します。
※エフェクトスイッチを3秒以上スライドし続けると、本製品の *Bluetooth* 電源が切れます。

3D BASS エフェクトを OFF にする

メインスイッチを上方向にスライドさせると、ビープ音が「ピッピッ」と 2 回鳴り、LED (赤) が 1 秒点灯し 3D BASS エフェクト機能が解除されます。

※音楽ソースによっては、3D BASS エフェクトにより音が歪む場合があります。
その場合は、3D BASS エフェクト機能を OFF にしてご使用ください。
※3D BASS エフェクト機能は *Bluetooth* 接続時のみ有効です。
接続コードを使用した場合、*Bluetooth* 機能が OFF になりますので 3D BASS エフェクト機能は操作できなくなります。

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。
お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

■ コントローラーについて
乾いた布で本体の汚れを拭いてください。

■ ヘッドホンについて
乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
なお、音が出る部分（※右図）は繊細なため、触らないようにしてください。
故障の原因になります。

■ コードについて
汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。
汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。

イヤーピースについて

● イヤピースのサイズ／種類について
イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。本製品は、4 サイズのシリコンイヤピース XS、S、M、L を付属しており、お買い上げ時は M サイズが装着されています。
よりよい音質で楽しんでいただくために、イヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の収まりの良い位置に調節してください。

● お手入れのしかた
ヘッドホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は乾いてからご使用ください。

● 交換のしかた
イヤピースを外し、新しいイヤピースを斜めから押し当てます。(図参照)
内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。
※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。

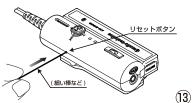
⚠ 注意

- ● イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- ● イヤピースは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、嵌合がゆるくなるなどの劣化が見られた場合は、お早めに交換してください。消耗品、部品の購入につきましては、販売店または当社のサービスセンターへお問い合せください。
- ● 一度外したイヤピースを本体に付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

リセット機能について

万一、本製品の操作ができなくなってしまった場合には、これを解除するためのリセットボタンが設けられています。下記手順に従って、コントローラー部左側面にあるリセットボタンで本製品をリセットしてください。

1. 右図のように細い棒などをリセットボタンに差し込んでください。ボタンが押されると電源が切れます。

※この操作をしてもペアリング情報は削除されません。

故障かな？と思ったら

Q１．電源が入らない

A１. 電池残量は充分ですか？→充電してください。
A２. 充電中ですか？→充電中は電源を入れることができません。
A３. 接続コードを挿入していますか？→接続コード挿入中は、*Bluetooth* 電源を入れることができません。

Q2．ペアリングができない／完了しない

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が離れていませんか？
→本製品と相手側 *Bluetooth* 機器を 1m 以内に近付けて、再度ペアリングしてください。
A２. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか？→適合を確認してください。
A３. プロファイルの設定は完了していますか？
→相手側 *Bluetooth* 対応機器の取扱説明書を確認し、プロファイルの設定を完了させてください。

Q3．*Bluetooth* 接続ができない

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか？→電源を入れてください。
A２. 相手側 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 機能は有効になっていますか？→*Bluetooth* 機能を有効にしてください。

Q4．音楽の音が出ない

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか？→電源を入れてください。
A２. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が A2DP で接続されていますか？→A2DP 接続してください。
A３. 相手側 *Bluetooth* 機器が音楽再生されていますか？→音楽再生してください。
A４. 本製品の音量が小さくありませんか？接続した機器側の音量が小さくありませんか？
→音量を大きく調整してください。

Q5．音楽の音が歪む、途切れる

A１. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに 2.4GHz 帯の周波数を使用する電子レンジや無線などの機器はありませんか？→それらの機器と離して使用してください。
A２. 3D BASS エフェクト機能が ON になっていませんか？ →音楽ソースによっては、3D BASS エフェクトにより音が歪む場合があります。その場合は、3D BASS エフェクト機能を OFF にしてください。
A３. 相手側 *Bluetooth* 機器で複数のアプリケーションが起動していませんか？→一部の携帯電話などにおいて本製品を使用する際、複数のアプリケーションが起動していると、音楽や音声が途切れる場合があります。
A４. 相手側 *Bluetooth* 機器と離れて使用していませんか？
→相手側 *Bluetooth* 機器を近付けて、電波の届く範囲で使用してください。

Q6．音楽の音質が悪い

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が、HSP の *Bluetooth* 接続になっていませんか？
→*Bluetooth* 接続を A2DP に切り換えてください。

Q7．通話相手の声が聞こえない（通話時）

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 対応携帯電話の電源が入っていますか？→電源を入れてください。
A２. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が HFP もしくは HSP で接続されていますか？
→HFP または HSP で *Bluetooth* 接続してください。
A３. 相手側 *Bluetooth* 携帯電話の音声設定が、通話中に本製品を使用する設定になっていますか？
→*Bluetooth* 携帯電話の音声設定で、本製品を使用できるように設定してください。
A４. 本製品の音量が小さくありませんか？ →音量を大きく調整してください。
A５. 接続した携帯電話の音量は小さくありませんか？ →音量を大きく調整してください。

Q8．通信距離が短い（通話時）

A１. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに 2.4GHz 帯の周波数を使用している電子レンジや無線などの機器はありませんか？→それらの機器と離して使用してください。
A２. 本製品を相手側 *Bluetooth* 機器に近付けてご使用ください。

Q9．充電できない

A１. 本製品とパソコンに充電用ケーブルがしっかり接続されていますか？→奥までしっかりと差し込んでください。
A２. パソコンの電源が入っていますか？→パソコンの電源を入れてください。
A３. パソコンがスリープ状態に入っていませんか？→パソコンの電源設定をご確認ください。
A４. 別売の USB 対応 AC アダプターをご使用の場合は、正しく接続されていますか？→接続のご確認をください。
A５. 初めて充電、または長い間使用していませんでしたか？→ 一度 NC スイッチを OFF にしてから充電してください。

Q10. ノイズキャンセリング効果が感じられない

A1. NC インジケーターをご確認ください。NC インジケーターが消えている場合は、NC スイッチを ON にすると、ノイズキャンセリング機能が ON になり、NC インジケーターが点灯します。
A2. ヘッドホンを装着しなおしてください。ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。
A3. 周囲の騒音がキャンセリング周波数に合わない場合があります。

Q11. ノイズが出る

A1. デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器ではノイズが出る場合があります。
A2. 本製品を使用中に再生機器を充電するとノイズが聞こえる場合があります。

Q12. ハウリング音（「ピー」という音）が鳴る

A1. ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。ヘッドホンを装着しなおしてください。

Q13. ブーン、パタパタといった音が聞こえる

A1. 近くにある携帯電話やコンピューター周辺機器のノイズを拾っている可能性があります。
ノイズを発生させる機器から遠ざけてご使用ください。

充電のしかた（USB 対応 AC アダプターを使用する場合）

「パソコンで充電する」(→6 ページ) 以外に、USB 対応 AC アダプター AD-SU505JEA(別売) を使用して充電することができます。

1. 本製品のマイクロ USB ジャックに、付属の充電用 USB ケーブルを接続します。
2. 充電用 USB ケーブルを充電アダプターのUSB ジャックに接続します。※1
3. コンセントに USB 対応 AC アダプターを接続してください。
4. 充電が開始されると本体の LED (青) が 1 回点滅し、LED (赤) が点灯します。
充電時間は約 3 ～ 4 時間です。※2
充電開始から約 3 ～ 4 時間で LED (赤) が消灯し充電完了となります。

※1 正しく接続されていない場合、本体の LED（赤）が点滅します。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。
充電中でもノイズキャンセリング機能を使用できますが、充電完了までの時間が長くなります。

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、約 0.5 秒間隔で LED（赤）と LED（青）が同時に点滅します。本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。LED の点滅が始まったら、上記の方法で充電してください。

- ● 指定の USB 対応 AC アダプター以外は使用できません。
- ● 以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても LED (赤) が消灯することがあります。
  - ・動作保証温度範囲（5℃～ 45℃）から外れる場合
  - ・充電式電池に異常がある場合

  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。
- ● 初めて充電を行なったとき、または長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- ● 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
充電式電池の交換については、お買い上げの販売店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
- ● 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- ● USB ケーブルは USB ジャックの奥までプラグを持ってまっすぐ差し込んでください。

テクニカルデータ

通信仕様

●通信方式	: *Bluetooth* 標準規格 Ver.2.1+EDR 準拠
●出力	: *Bluetooth* 標準規格 Power Class2
●最大通信距離	: 10m 以内（見通しの良い状態）
●使用周波数帯域	: 2.4GHz 帯（2.402GHz ～ 2.480GHz）
●対応 *Bluetooth* プロファイル	: A2DP　AVRCP　HFP　HSP
●対応コーディック	: SBC
●対応コンテンツ保護	: SCMS-T 方式

ヘッドホン部

●型式	: ダイナミック型
●ドライバー	: φ11.5mm
●再生周波数帯域	: 20 ～ 24,000Hz
●ノイズキャンセリングレベル	: 最大 -20dB
●出力音圧レベル	: 102dB/mW（ノイズキャンセリング使用時） 101dB/mW（ノイズキャンセリング不使用時）
●インピーダンス	: 16Ω（ノイズキャンセル使用時） 16Ω（ノイズキャンセル不使用時）
●コード長	: 0.6m（Y 型 ＊）＊左右のコードの長さが同じです。

コントローラー部

●マイク型式	: エレクトレットコンデンサー型
●マイク指向性	: 無指向性
●マイク感度	: -40dB（1V/pa、at1kHz）
●マイク周波数帯域	: 10 ～ 4,000Hz
●電源	: DC3.7V　リチウムポリマー充電池（内蔵式）
●外形寸法（コード含まず）	: W29mm×H64mm×D27mm
●使用温度範囲	: 5℃～ 45℃

質量

●全体（コード含む）: 約 33g
●ヘッドホン部（コード含む）: 約 10g
●コントローラー部 : 約 23g

付属品

●充電用 USB ケーブル : 1.0m
●接続コード : 0.8m
●航空機用変換アダプター
※航空機の搭載機器により、使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。
※このアダプターは本製品専用です。他のヘッドホンには使用しないでください。
●イヤピース : ER-CKM55(XS,S,M,L)
●ポーチ

別売

● 交換イヤピース : ER-CKM55(XS,S,M,L)
● USB 対応 AC アダプター : AD-SU505JEA

(改良など予告なく変更することがあります。)

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先 (電話受付 / 平日 9:00 ～ 17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●相談窓口（製品の仕様・使いかた） 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX : 042-739-9120　Eメール : support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（修理・部品） 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX : 042-739-9120　Eメール : servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ （サポート）
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp
132309830B

本紙は、*Bluetooth* 機能の使用時における動作状態の一覧表になります。
本製品のコントローラー部の LED 点滅・点灯表示により動作状態の確認をすることができます。
＊ノイズキャンセリング機能のLED表示につきましては、取扱説明書 (→4 ページ) を参照してください。

Bluetooth 機能使用時の LED 表示について

●：LED（青）
●：LED（赤）

動作状態			LED 表示パターン	
接続動作	接続操作待ち	青 赤	- ● - - - ● - - -	繰り返し 点滅 （ゆっくり）
ペアリング	ペアリング中	青 赤	● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● -	繰り返し 点滅
接続中	A2DP/AVRCP または HFP/HSP が接続	青 赤	● - - - ● - - - -	繰り返し 点滅 （ゆっくり）
	A2DP/AVRCPと HFP/HSP が同時接続	青 赤	● - - - ● - - - -	
音楽	再生中	青 赤	● - - - ● - - - -	繰り返し 点滅 （ゆっくり）
	再生中 （HFP/HSP 待ち受け中）	青 赤	● - - - ● - - - -	
通話	着信中	青 赤	● - - - ● - - - -	繰り返し 点滅 （ゆっくり）
	通話中	青 赤	● - - - ● - - - -	
	音楽再生中の通話	青 赤	● - - - ● - - - -	
エフェクト	音楽再生中に 3D BASS エフェクト ON	青 赤	━━━ - - - - - -	一定時間 点灯
	音楽再生中に 3D BASS エフェクト OFF	青 赤	- ━━━ - - - - -	一定時間 点灯